

淀川水上オートバイ関係問題に関する提言

資料編

平成12年7月

淀川水上オートバイ関係問題連絡会

淀川水上オートバイ関係問題に関する提言 資料編

(目 次)

- 資料-1 淀川水面利用実態調査報告 (P 1～)
- 資料-2 淀川水上オートバイ騒音調査報告 (P 9～)
- 資料-3 日本野鳥の会大阪支部の意見 (P 13)
- 資料-4 大阪市漁業協同組合の意見 (P 14～)
- 資料-5 大阪府淡水魚試験場の意見 (P 16)
- 資料-6 摂津市一津屋自治会の意見 (P 17)
- 資料-7 淀川の一津屋地点 (三島浄水場取水口) でのVOCについて (P 18～)
- 資料-8 水上オートバイ適地についての検討結果について (P 28～)
- 資料-9 一津屋地区防災公園設置に関する要請書 (P 31)
- 資料-10 水上オートバイを原因とする有害物質による水道水源の汚染防止措置に関する要望書 (P 32～)

淀川水面利用実態調査報告

1. 調査概要

日 時 平成10年8月2日から9月6日までの日曜日（6日間）
9時から17時

場 所 鳥飼仁和寺大橋（20k）
鳥飼大橋（17k）
豊里大橋（14k）
淀川大橋（5k）
伝法大橋（3k）

調査内容 1時間おきに、水面の利用種類別の台数を調査する。

2. 調査報告

①場所別利用台数

鳥飼仁和寺大橋— 8月9日を除いて利用はほとんどなし
鳥飼大橋 — 200から250台 最大時は320台
豊里大橋 — 10台以下
淀川大橋 — 10台前後 最大時は40台
伝法大橋 — 30から50台 最大時は70台

②時間別利用台数

全体的に12時から増加し始め、15時がピークの傾向がある。

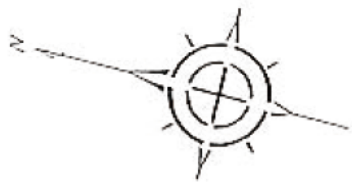
③種類別利用台数

（水上オートバイ）— 全体的に利用されているが、鳥飼大橋が最大で、200から250台、最大時は320台、その内走行しているのは30から40台である。

（アウトボード・フィン [ボート・セーリング]）— 全体的に利用されているが、伝法大橋が最大で30から70台の利用がある。

（その他）— ボート、カヌー等の定まった利用傾向はみられず、単発的に5台以下の利用である。

水面利用実態調査位置図



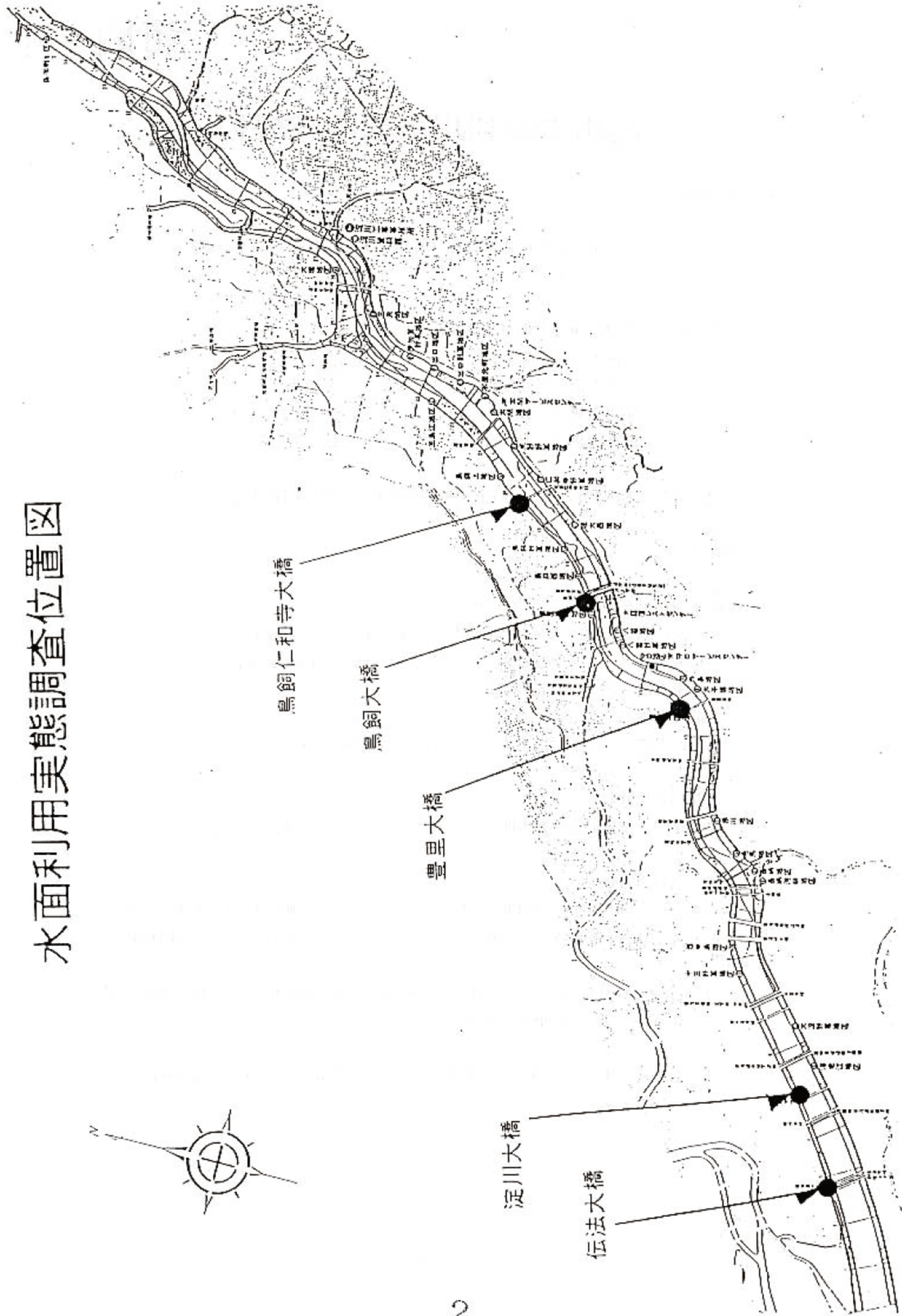
鳥飼仁和寺大橋

鳥飼大橋

豊里大橋

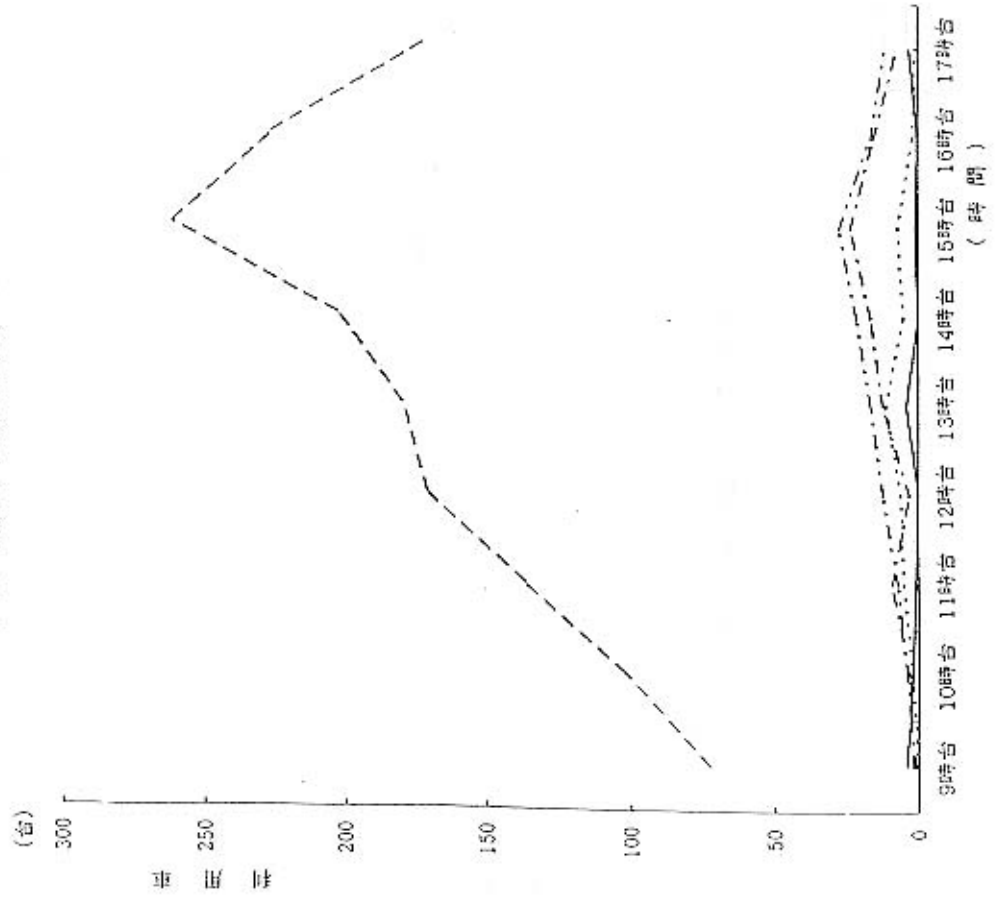
淀川大橋

伝法大橋

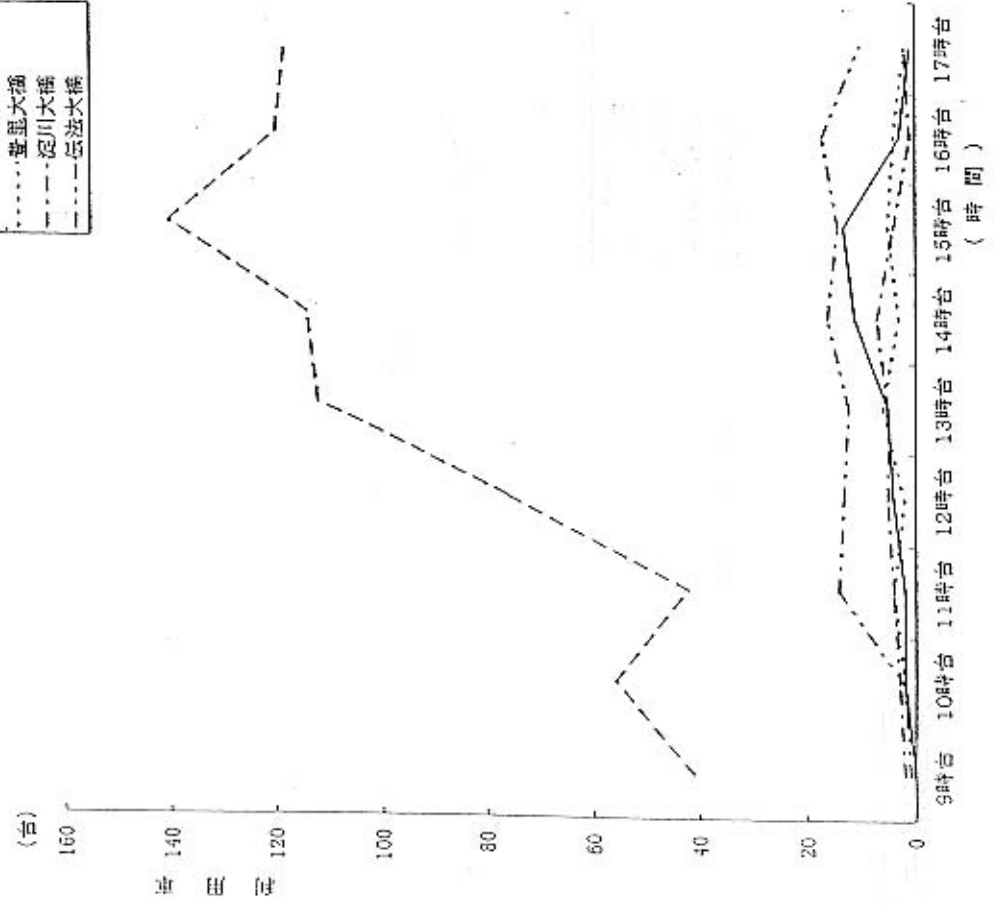


利用数時間変動

平成10年8月2日(日)

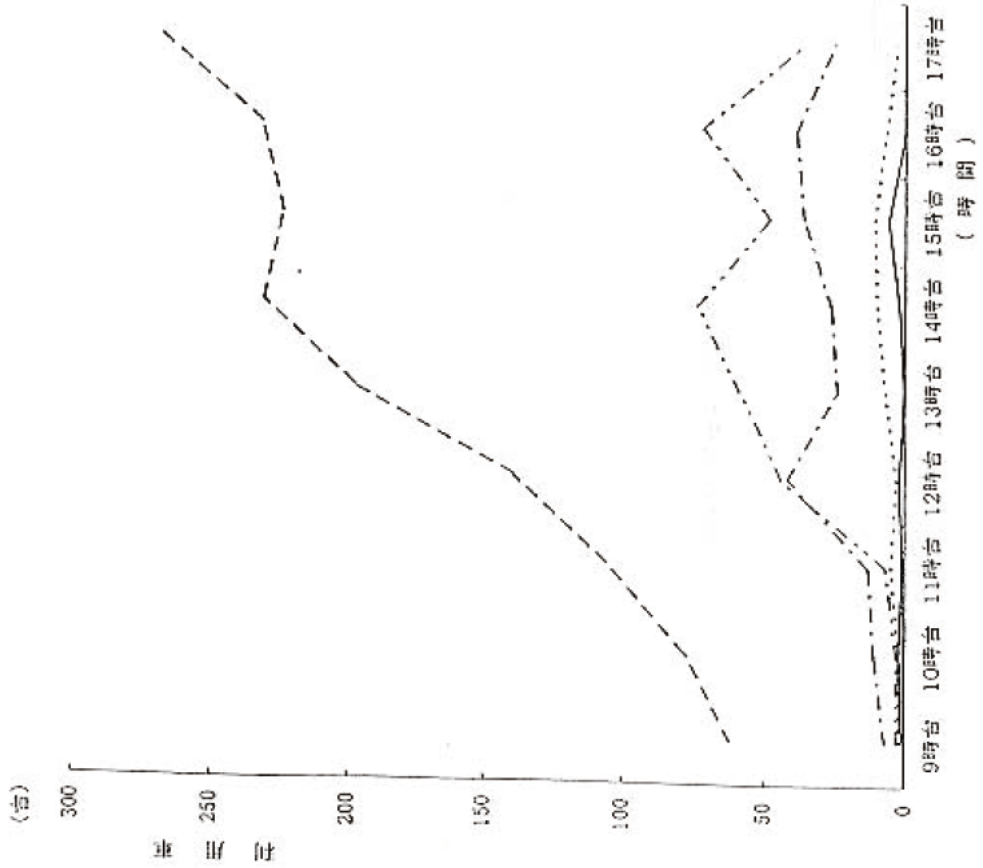


平成10年8月9日(日)



利用数時間変動

平成10年8月16日(B)



平成10年8月23日(B)

